

北海道大学と連携・協力に関する協定を締結

平成 25 年 12 月 18 日
(独)土木研究所
土砂管理研究グループ
火山・土石流チーム

平成 25 年 12 月 5 日、北海道大学農学研究院・農学院・農学部（農学研究院長・農学院長・農学部長：丸谷知巳、以下「北海道大学農学研究院」という）と 独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ（グループ長：小山内信智、以下「土木研究所」という）は、連携・協力に関する協定を締結しました。



小山内グループ長（左）と丸谷北海道大学農学研究院長（右）

【協定の趣旨】

土砂災害分野において、基礎研究の蓄積がある北海道大学農学研究院と 全国的な応用研究の蓄積がある土木研究所の両者が 相互の研究開発能力、人材およびその育成に関する経験等を活かし、防災・減災対策に資する研究成果を共同で創出することにより、両者の発展のみならず社会へ貢献することを目的としています。

【協定に至った経緯】

北海道大学農学研究院の連携研究部門では、『複雑化・多様化する社会の今日的要請に

応えるべく、主に短中期的な目標のもと、行政的な要請などに基づく連携から生まれる先端的プロジェクトを推進する』ことを役割の一つとしています。これは『社会的要請を受け止め優れた成果の創出による社会への還元』を目標とする 土木研究所の理念や方向性と重なる部分が大きく、両者における共通分野である土砂災害分野において、相互の研究開発と教育の発展に資する連携・協力を推進させるための協力体制を模索してきました

平成 25 年 5 月～11 月：研究協力に向けた協議の実施

平成 25 年 8 月：インドネシア・アンボン島で発生した天然ダム災害現地調査の実施

(土木研究所上席研究員、北海道大学准教授)

【協定の内容】

この協定は、北海道大学農学研究院と土木研究所が連携・協力を推進し、相互の研究開発能力及び人材等を活かして総合力を発揮することにより、研究開発と教育の発展に寄与することを目的とするものです。連携・協力の実施事項は次のとおりです。

- 1.共同研究等の研究協力
- 2.研究交流
- 3.教育・人材育成の相互支援
- 4.研究施設・設備の相互利用
- 5.その他、本協定の目的遂行に必要な事項

－以上－